

～日本のクルーズ船～

日本船籍のクルーズ船は「飛鳥II」、「にっぽん丸」、「ぼしふいっくびいなす」の3隻があります。

★にっぽん丸★

全 長：166.6m
全 幅：24m
総トン数：22,472 トン
乗客定員：524 名
客 室 数：184 室
就 航 年：1990 年



★ぼしふいっく びいなす★

全 長：183.4m
全 幅：25m
総トン数：26,594 トン
乗客定員：620 名
客 室 数：238 室
就 航 年：1998 年



「**大人を幸せにする海の上の国～海の上に浮かぶもう一つのにっぽん～**」をブランドコンセプトに **2010 年大改装**。船体や船内の改装だけでなく、海の上で「**大人の贅沢な時間**」を誰でも楽しめるように最新のサービス、設備へと生まれ変わりました。「**美食**」をうたう客船で、**寄港地の食材や伝統料理、季節を感じさせるメニュー独自のコース**にも定評があります。比較的コンパクトな船体を生かし、大きな船では入れない港にも寄港しています。

*大きな船は横揺れに強く、「**スタビライザー**」という横ゆれ防止装置により揺れを感じることはほとんどないので船酔いしやすい方でも安心!!

*宿泊費・食事代・船内でかかる費用**全て旅行費用に含まれている**のでお得!現在、**リースナフル**にクルーズ旅を楽しめるコースも多数あります。



全 長：241m
全 幅：29.6m
総トン数：50,142 トン
乗客定員：872 名
客 室 数：436 室
就 航 年：2006 年



★飛鳥II★

日本船籍では最大の客船で、初代飛鳥が就航して去年 **25 周年**を迎え、充実した施設と丁寧なおもてなしで好評を得ています。クルーズ専門誌が主催する読者投票企画「**クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー**」を **25 年間連続受賞**。船内は**芸術作品**があちこちに飾られ、**上品な雰囲気**です。旬の食材を生かした本格和食が楽しめたり、海を臨める大浴場で癒されたりと、日本船ならではのおもてなしも満載です。

クルーズ船旅行の魅力!!



現在、日本国内には博多港や横浜港、神戸港を中心に豪華客船が停泊しています。2016 年に博多港へ寄港した外国と国内を合わせたクルーズ船の寄港が横浜港を抜いて初めて全国 1 位となりました。各旅行会社のクルーズ船旅行のツアーも多く見られます。そんなクルーズ船、どんな旅行なのでしょうか・・・。



クルーズ船は夢のような空間!!

オープンデッキに出れば、360 度見渡す限り広がるオーシャンビュー! 普段では体験出来ない夢のような空間! 海から眺める陸の景色はクルーズでしか味わうことができません。

様々な記念日旅行に!

クルーズは誕生日やハネムーン、結婚記念日等特別な日のお祝いにぴったり!



全ての食事が含まれている!

旅行中の楽しみといえば「食事」! 船内には本格的なフルコースをいただけるメインダイニングやカジュアルなビュッフェスタイルのレストラン等、個性豊かな食事を楽しんで頂けます。

退屈知らず!! イベント目白押し!!

船内では毎晩、歌や踊り、マジック等多彩なショーを開催! その他、スポーツやシアター、カジノからエステまで船上での楽しみも盛りだくさん!!



クルーズ船は快適!

ホテルの客室のように快適なキャビンライフ! バルコニー付きやリビング付き等様々な客室を選び、優雅な時を過ごして頂けます。一度客室に入ってしまうと荷造りは下船前のみで OK。まるで我が家であるかのような気分が味わえます。

楽々! 寄港地での観光

様々な寄港地で観光やショッピング、グルメ等楽しんで頂けます。もちろん荷物はお部屋に置いたままで OK!



← ← 左のページでは日本のクルーズ船を紹介しています。

旅ランド通信

10月号

発行所

旅ランド本社営業所
福岡県直方市古町4番9号
TEL 0949-29-7777
FAX 0949-29-7778

✉ nogata@tabiland.jp

いい旅いっぱい

今月の紙面

クルーズ船旅行の魅力!!	一面 上
添乗員日記第五十話「ア・サン・マル」	一面 上
沖縄は「ア・サン・マル」観光で大盛況!	二面 下
観光列車の名前が「〇〇なはなし」??	二面 上
道後温泉別館「飛鳥乃湯」誕生!	二面 下
秋の日本庭園「慧洲園」	一面 左上

添乗員日記

第五十話「ア・サン・マル」観光で大盛況!
沖縄「ア・サン・マル」観光で大盛況!

沖縄県では昭和47年に日本本土復帰後「国 交通制度」を遵守する立場から、6年後の昭和53年7月30日をもって県内全域で左側通行に戻すことが決定され、日本復帰を象徴的に示す「ア・サン・マル」が実施されました。ア・サン・マル(ナナ・サン・マル)の名称は、その実施日に由来し、それまでの沖縄は終戦後に沖縄を占領下に置いた米海軍政府の出した指令により右側通行が施行されていました。

初めて沖縄に行ったのは、ア・サン・マルが実施される2年前で、ツアーの募集による添乗業務でした。偶々往きの機内で隣に居合わせた〇〇旅行社の添乗員と沖縄観光について話が盛り上がりそこで私は驚く話を聞きました。世界でも類のない「ア・サン・マル」を見るツアーの募集を計画していると言ったのです。こんなチャンスは二度となく歴史に残る行事なので募集すれば必ず満席になります!」とのこと。早速私も試みましたが、本土に返還されたばかりの沖縄はバスポートなしで気軽に旅行が楽しめるようになり新たな観光地として既に各旅行会社が競って沖縄旅行を募集し、またこの日の為に全国から警察官や機動隊など関連の方々が沖縄に応援に来るなどで、宿泊施設や運送関係は既に予約済みのパンク状態であり、折角の情報は遅かりしで断念せざるを得ず悔しい思いをしたことがあります。

本日は「ア・サン・マル」実施2ヶ月後の沖縄添乗、現地では交通事故が多発! 報道機関の分析によると熟練ドライバーほど長年の癖が染みついており事故の確率が高いとの情報を聞いていました。そんな不安を抱えながら2日間の添乗に臨みました。那覇空港到着後、早速乗務員と打ち合わせで状況を聞くと、ガイドさんが皆さんから同じような質問をよくされるんです。ペテラソンさんは「実地訓練中」なので、本日もドライバーは「右側通行」の経験が浅い新人です。そこで安心下さい!」とお客様に案内しており、これも沖縄旅行の名物としてとらえてほしいと聞かされました。ええ! そうなんです。私はそれなりに納得し2日間事故の無い沖縄添乗を終えることができました。

篠原 寄)

菟洲園(けいしゅうえん)は「昭和の小堀遠州」と称された**中根金作氏**によって作庭された約3000坪ある、**巨大な池泉回遊式日本庭園池**とその周辺にめぐらせた園路を散策できるタイプの庭です。中世を思わせるダイナミックな石組みから**流れる瀑布と茶畑**が印象的に配され、**武雄**を象徴する美しい借景に見事に調和しており、四季折々の風情を感じながら散策を楽しめます。特に秋には、**赤や黄に色づいたもみじが陽に照らされて輝くさま**は、どこか郷愁を呼び起こします。紅葉見頃は11月中旬から12月初旬までです。

日本庭園の中には、浮殿のように池中に浮かぶ、**中国の古陶磁器や翡翠**などの芸術品を展示している「**陽光美術館**」もあります。

住所: 佐賀県武雄市武雄町武雄 4075-3
TEL: 0954-20-1187
入園料: 大人 600 円 美術館共通券 1000 円
学生 500 円美術館共通券 800 円(中学生以下無料)
時間: 9:00~17:00
休館日: 水曜日(4、5、10、11月は毎日営業)



秋の日本庭園「菟洲園」



*土・日・祝日運行
10月以降の運航日は未定
*新下関~東萩間(下関経由)で1日1往復運転

観光列車の名前が「〇〇のはなし」??

8月5日からJR西日本で観光列車「〇〇(まるまる)のはなし」が運行しています。
〇〇のはなしは2両編成で車両のデザインコンセプトは**西洋に憧れた日本**、洋:2号車、**西洋に憧れた日本**、和:1号車)とし、**洋と和をつないだ海**をベースにデザインされています。また、萩市の果実である**夏みかん**の花、下関市の花である**ハマユウ**を各所にあしらっています。全席指定席、販売カウンターやイベントスペースもあり、響灘や日本海に面した本州最西端の美しい海岸美を眺められる様に、窓枠も大型化されています。**1号車は海側にカウンター席と4人で座れるボックス席、山側に2人で座れるボックス席、2号車は海側を向いた座席となっています。**

名前の由来は・・・

「響灘や日本海に面し、心奪われる美しい海岸美が続く山陰線。そこには、日本と西洋をひき合わせた志士たちの歴史や文化、美味しい海の幸やお酒など、見て、聞いて、感じてみたいさまざまな「**はなし**」が息づいています。美しい海岸線とともに、**萩(は)・長門(な)・下関(し)**を辿り、思い出に残る『はなし』の旅をお楽しみください」とのこと。



道後温泉別館「飛鳥乃湯泉」誕生!



注目!

★クレジットカード「イオンカード」が全店舗にてご利用出来ます!!

★直方商工会議所発行の『のおがた元気いっぱい笑顔いっぱい商品券』が本社営業所・クロサキメイト店にてご利用頂ます!

2017年12月31日(日)まで



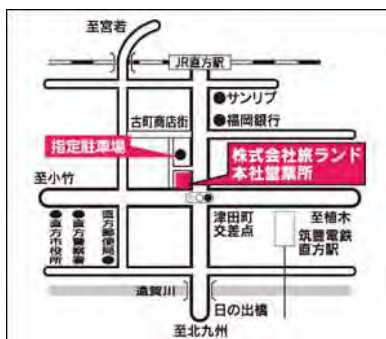
日本最古といわれる**道後温泉**に「**道後温泉別館 飛鳥乃湯泉**」が**2017年9月26日**にオープンします。コンセプトは、**聖徳太子の来湯や斉明天皇の行幸**などの物語や伝説が残る日本最古といわれる温泉にふさわしい**飛鳥時代の建築様式**を取り入れた湯屋です。道後温泉本館と同じ、全国でも珍しい、**加温も加水もしていない源泉かけ流しの「美人の湯」**が楽しめます。

屋根の上には、道後温泉のシンボルである**塔屋**を配置、**中庭**は聖徳太子が詠った「**椿の森**」をイメージし、椿が生い茂っている当時の様子を再現します。館内は、**1階**には開放的な**大浴場**と、道後温泉本館には無い**露天風呂**、**2階**には**皇室専用浴室**の又新殿を再現した**特別浴室**を設え、昔の浴衣「**湯帳**」を着ての入浴体験もできます。(湯帳とは「**ユカタビラ**」とも言われ、一定以上の身分の人が身に着けたものと考えられ、**ユカタ**の原形となったもの)

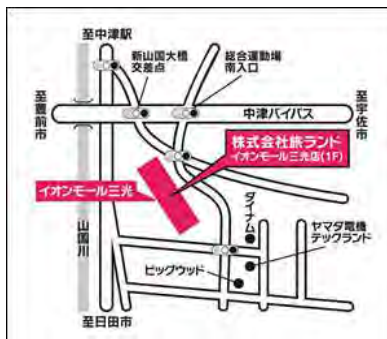
さらに約**60畳**の休憩室、個室5室を設え、道後温泉ならではの「**おもてなし**」の給茶サービスを行います。**明治時代の近代和風建築**の代表である**道後温泉本館**と対比させ、**二つの時代のお風呂**が楽しめます。



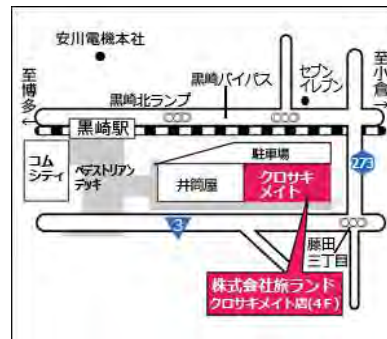
本社営業所
☎822-0027
福岡県直方市古町4番9号
TEL:0949-29-7777
FAX:0949-29-7778
営業時間 9:30~18:00(平 日)
9:30~14:00(土曜日)



イオンモール三光店
☎871-0111
大分県中津市三光佐知 1032
TEL:0979-43-2234
FAX:0979-26-8311
営業時間 10:00~21:00
受付時間 20:00 まで



クロサキメイト店
☎806-0021
北九州市八幡西区黒崎1丁目1番1号
TEL:093-482-7789
FAX:093-482-7790
営業時間 10:00~19:30
受付時間 19:00 まで



クロサキメイト店

